

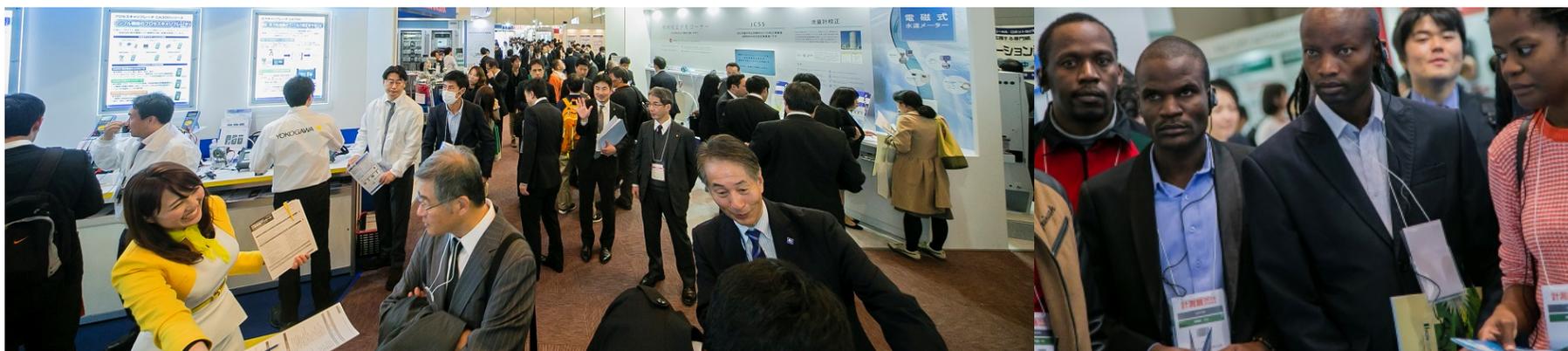


未来のものづくり社会を支える計測・制御技術の総合展

計測展2018 OSAKA

産業IoT・AIゾーン

出展のご案内



《関西圏最大級》

「計測展2018 OSAKA」は、ものづくりのプロが多数来場する展示会です。

現場から集まるデータは「活用」の時代へ。
IoT・AIがもたらす革新と次世代にあるべき製造現場とは

世界のものづくりは今、新たな局面を迎えており、高い品質で世界に誇る日本の産業界にとっても、ものづくりのプロセスをリアルタイムで把握し、計測機器やセンサーで集積したデータを分析して改善やコスト削減を加速するだけでなく、その先の付加価値の創出と最大化を急ぐ必要があります。

ものづくり社会のマザーツールとして産業の発展に貢献してきた計測と制御技術に特化し、関西圏最大級の専門展として発展してきた「計測展OSAKA」は、2018年の新企画として、工場のスマート化/FA、データ流通/センシング、次世代モビリティ、AI技術といった注目分野を見据えて、最新のテクノロジーを軸とした包括的なソリューションを集中発信します。

その中心として、従来の出展品目である計測機器、制御機器に加えて、新たに「産業IoT」と「AI(人工知能)」にフォーカスしたゾーンを新設します。製造業におけるIoT活用は、計測から始まると言っても過言ではありません。コネクテッドデバイスの普及拡大にともない、IoTのコンセプトも広がっていく中で、通信モジュールインフラの検査や監視を行う計測器が持続的な顧客ベースを構築するだけでなく、製造工程では、ワイヤレス通信における新たな業界標準が検査の必須要件を増大させ、IoT向けの計測器のニーズ拡大にもつながります。

このような市場発展の見通しにより、2018年の計測展OSAKAでは、近畿経済産業局ならびに自動車技術会と強力なタッグを組み、今後も伸びる業種業界への来場促進とともに、貴社ビジネスの商圏拡大をお手伝いいたします。

ご出展による貴社のメリット

- IoT活用の第一歩となる計測・制御分野に関わるユーザ企業の課題やニーズを的確に把握することができる。
- 今後も伸びる業種「製造業」「自動車」「エネルギー」他の各業界に従事するキーマンに接触することができる。
- 開発・設計、品質管理、保守・保全等のものづくりのプロにフォーカスした効果的な情報発信により良質な案件に出会える。

◇産業IoT・AIゾーンのコンセプト

計測展2018 OSAKA
来場者の関心事 その①

工場設備とIoT

各種センサーによる同期計測

膨大なデータの蓄積

現場の見える化

リアルタイム監視

停止要因分析

予兆検知・保全対処

セキュリティ対策

《IoT社会における製造業の方向性》

ものづくりの『現場』が抱えている悩みと課題

- ✓ 人手不足・技能伝承
- ✓ 第4次産業革命とデジタル化への対応
- ✓ 生産設備の保守コスト削減
- ✓ ダウンタイムの削減

ITとOTとの統合が不可欠！
(システムインテグレータの必要性)

OT

Operational
Technology

IT

Information
Technology

製品設計

生産設計

生産管理

販売・保守

計測展2018 OSAKA
来場者の関心事 その②

AIと自動化

自動化技術

画像データ・位置情報

データ解析基盤

ディープラーニング

次世代無線技術・5G

制御・ロボット

自動運転技術

- 生産性向上・プロセス変革
 - オープンイノベーション
 - 現場力強化
- 付加価値の創出・最大化

◇計測展2018 OSAKA協賛メニュー

ご協賛プラン	価格(消費税別)	講演(60分)	展示	特典
展示 + 講演	114万円	100名会場 (1枠)	1小間 (間口3m×奥行3m×高さ2.7m) ※パッケージブース付小間	<ul style="list-style-type: none"> ・公式ガイドブック、招待状へのロゴ掲載 ・公式ウェブサイトバナー広告(ローテーション) ・過去来場者向け告知メールヘッダー5行広告(2回)
展示	44万円	—	1小間 (間口3m×奥行3m×高さ2.7m) ※パッケージブース付小間	—
講演	70万円	100名会場 (1枠)	—	<ul style="list-style-type: none"> ・公式ガイドブック、招待状へのロゴ掲載 ・公式ウェブサイトバナー広告(ローテーション) ・過去来場者向け告知メールヘッダー5行広告(2回)

※小間の追加につきましては別料金にてお受けいたします。

<出展料に含まれるもの>

- ・案内状DMセット(パンフレット/招待券/封筒) : 1社300部 + 出展小間数×100部
- ・ポスター(A1サイズ/希望者のみ/5枚まで無料)
- ・公式ガイドブックおよび公式ウェブサイトでの社名掲載、出展内容紹介

<今後のスケジュール>

出展申込締切日

5月25日(金)

出展者説明・小間位置選定会

7月13日(金)

事前登録開始

9年上旬

《ご参考》

◇計測展2018 OSAKA 開催概要

名称：計測展2018 OSAKA

テーマ：未来のものづくり社会を支える 計測・制御技術の総合展

会期：2018年11月7日(水)～11月9日(金)

時間：10:00～17:00

会場：グランキューブ大阪(中之島・大阪国際会議場)

主催：一般社団法人 日本電気計測器工業会(JEMIMA)

後援：近畿経済産業局／大阪府／大阪市／大阪商工会議所(順不同・申請予定)

来場者数：13,000人(予定)

入場料：1,000円(消費税込)

(※事前登録者または招待券持参者および学生は入場無料)

公式サイト: <http://jemima.osaka/>

出展対象分野：

産業IoT・M2M／産業用ロボット／周辺機器／組込みソフトウェア

AI・ビッグデータ／クラウド／次世代無線技術／生産管理システム

電気測定器／FA用計測制御機器／PA用計測制御機器／指示計器

電力需給計器／電子応用計測器／環境計測器／放射線計測器



【出展のお申込み及び詳細のご案内】

<http://jemima.osaka/>

【お問合せ】

計測展2018 OSAKA 運営事務局 (日経BP社)
〒105-8308 東京都港区虎ノ門4-3-12 TEL: 03-6811-8084
E-mail: mcs2018@nikkeibp.co.jp

① Webや雑誌、見込み客リストをフル活用し、プロモーションを展開。
質の高い来場者動員を図ります。

■ 雑誌・Web

有力業界専門誌、および有力Web媒体などを活用します。中核来場者である電機・電子・機械・ものづくりの製造技術者から企業のマネジメント層、中堅中小企業経営者、ICTプロフェッショナル、社会インフラ関連分野のキーマンまで、幅広く告知活動を展開します。

■ eDM・メールマガジン

日経ものづくりや日経XTECH(クロステック)メールなどの登録読者に向けてeDMを配信します。また、「計測」、「制御」、「センサー」、「IoT」といったキーワード(予定)で読者を抽出して、ターゲティングメールを効果的に活用します。

■ SNS(ソーシャルメディア)

本展示会が運営する公式Facebookページなど、ソーシャルメディアを活用し、これまでの既存来場者層だけでなく、様々な分野の来場ターゲット層や若年層に向けて、より広く展示会やセミナー情報を発信していきます。



② 自動車業界のものづくりのプロを強かに集客するプロモーション
《主催者特別企画》
「計測・制御技術が支える ~次世代モビリティ最前線~」

IoTや5Gの有望なユースケースとして、コネクテッド・カーや自動運転など自動車関連のソリューションが注目を集めるなか、普及には、EV電池の量産化などさらなる技術革新が期待されています。クルマづくりに代表されるものづくり現場のイノベーション、計測と制御技術の役割、業界への期待について、特別講演と展示でわかりやすく解説します。

◎ 次世代モビリティ最前線がここに！(公社)自動車技術会関西支部による協賛講演
EV化と自動運転に関わる最新情報、計測・制御技術の役割、業界への期待を講演
=>自技会会員約6,000人への来場促進により、自動車関連業界からの集客を拡充！

◎ 近畿経済産業局、近畿総合通信局及び関西ものづくりIoT推進17団体(1,000社)との連携企画拡大
=>両局のビジネス創出支援企画により、将来のIoT導入キーマンへの接触が可能に！

